


- 4 . 社会環境の変化に併せた住宅の情報化の総括

- 住宅情報化推進協議会協議会 設立 20 周年記念誌発行 -

A generalization of Home Information and Communication Technology responds to the change of the Social Environment

- Publication of the 20th anniversary commemorative booklet of ALICE FORUM -

 キーワード	住生活, ホームネットワーク, ブロードバンド, インターネット, ホームバスシステム, 住宅情報化配線
Key Word	Dwelling Life, Home Network, Broadband Service, Internet, Home Bus System, Home Information Infrastructure

1. 記念誌発行の概要

住宅情報化推進協議会は「住宅の情報化」により、生活の快適性・安全性・利便性を確保し、豊かでゆとりのある住まいと暮らしを実現してゆくため、多岐にわたる業界の賛同を得るとともに、当時の通商産業省、郵政省、建設省の協力をいただいて 1988 年に設立され、以来 20 年間、住宅情報化推進のフロントランナーとして業界横断的な活動を続けて来た。

また、平成 17 年度からは、ユーザ・オリエンテッドな視点で住宅の IT 設備、機器や利用環境、利活用状況など、ユーザの生活に根ざした住宅情報化に寄与することを念頭に、実態把握・ニーズ調査などの活動を行い、住宅情報化推進協議会の当初の活動目的「生活の快適性・安全性・利便性を確保し、豊かでゆとりのある住まいと暮らしを実現」がほぼ達成されたと捉えることができた。

以上のことから、設立 20 周年を期に、今年度をもって住宅情報化推進協議会の活動に終止符を打ち、活動の集大成として、設立 20 周年記念誌の発行を行った。

2. 住宅を取り巻く情報通信環境

住宅を取り巻く情報通信環境の進展

この 20 年間、個人住宅へのブロードバンドサービスの普及と、日常生活でのインターネットの浸透、携帯電話の幅広い普及と機能の進化、家庭内 LAN の増大など、住宅を取り巻く情報通信環境は大きく変化した。家庭内 LAN や情報コンセント等 IT 関連設備が配備された住宅はより一層増加し、インターネットアクセス機能付きテレビ受像機をはじめとする各種情報家電、3G 携帯電話、MP3 プレイヤー、ゲーム機、ネットワークカメラ、センサーなどの機器の利用が拡大し始めている。

そして、住生活の情報化は、地上デジタル放送・ワンセグ放送や音楽・映像コンテンツの視聴、IP テレビ電話、オンラインゲーム、住宅設備機器の遠隔操作に加えて、ブログ、SNS の利用拡大、ユーザ自身による写真・映像・音声等各種コンテンツの作成・編集・発信等、多様な機器やサービスを活かし、ユーザの主体性、能動性が発揮されるものへ進化している。

政府施策と住宅の情報化

情報化の進展とともに、平成 19 年度より、政府は IT 関連機器のエネルギー消費量の削減、IT の利活用による環境負荷の軽減を目指したグリーン IT 政策を推進している。日常生活に対するユーザの関心も、治安の安定、安心・安全な生活や健康に加えて、地球環境問題、省エネルギーに及び、住生活での IT の利活用においても、地球環境問題への貢献が意識され始めている。

住宅政策においても、持続可能な社会の実現を目指し、良質な住宅を大切に長く使うことによる地球環境への負荷の低減、建替えコストの削減を目指した長期耐用住宅の普及に向けた具体的施策が始まっている。

住宅情報化推進協議会の活動

住宅情報化推進協議会は設立以来、住宅内の各種電気機器を有機的にネットワーク化することによる、ホームオートメーションの実現に向けて、主に住宅の情報インフラに関して数々の成果を発信してきた。

2000年代に入りブロードバンドの普及と共に、様々なコンテンツ・サービスが登場し、住生活においてもITの利活用が活発になってきた。しかし、住宅の情報化が身近になればなるほど、新たな課題も生まれつつある。ITの導入期、その担い手はマニアや新しいものを受け入れるのに抵抗の少ない若者などが中心だったが、これからは、中高齢者や子ども達にも抵抗なく楽しんで使ってもらえるような機器やサービスでなければならない。ユーザが何を望んでいるのか、何に困っているのか、ユーザの声によく耳を傾けるということが、今まで以上に重要になってきている。

そこで、平成17年度からユーザ・オリエンテッドな視点で、住宅のIT設備・機器や利用環境、利活用状況に関して継続的な調査を行い、そこから得られた課題、これからの住宅情報化の展望について提言を行った。

3. 記念誌概要

会長ご挨拶

- ・住宅情報化推進協議会 20年の歩みと通信インフラのコペルニクス的転回

ご挨拶

- ・ユーザ・オリエンテッドな社会へ
- ・住宅情報化推進協議会の20年間の活動に寄せて
- ・情報通信の20年のあゆみと今後
- ・住宅情報化推進協議会の果たした役割

活動史

- ・住宅情報化の推進と住宅情報化団体連絡会の貢献活動
- ・私とALICE FORUM 住宅情報化の国際標準活動を振り返って
- ・インターネットアクセスの円滑化に向けた共同住宅情報化標準の策定
- ・居住者が期待する21世紀の住宅情報化のコンセプト 今後の住宅情報化への道標
- ・通信環境を利用した“見守る家”に関する調査研究報告
- ・ALICE マーク発行による住宅情報化推進活動
- ・住宅情報化の普及促進活動
- ・住宅情報化推進協議会の歩みと社会の動き

調査結果

- ・「住宅情報化のユーザ実態・ニーズ調査」4年間の調査結果のまとめ
- ・「住宅情報化のユーザ実態・ニーズ調査」4年間の経年調査データ

提言

- ・情報化による豊かな生活 活力ある社会を目指して
ユーザ・オリエンテッドな住宅情報化に向けて